

第87回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(高知)

四国本部 幹事
高知県支部 事務局長
松本 洋一
MATSUMOTO Yoichi



1. セミナーの概要

2023年6月30日(金)に、「高知会館」において、第87回CPDセミナー・公開講座・防災セミナー、令和4年度技術士第二次試験合格者祝賀会を開催いたしました。セミナーに先立ち高知県支部の年次大会を開催しました。セミナーには69名(うちWeb参加6名)、祝賀会は49名と多数のご参加をいただきました。

表1 プログラム

1. 開会(13:30~14:20)

開会挨拶

(公社)日本技術士会四国本部副本部長 河野 一郎

日本技術士会四国本部の紹介

(公社)日本技術士会四国本部事業委員 下村 昭司

青年技術士交流会の紹介

(公社)日本技術士会四国本部青年委員 土居 範昭

2. CPDセミナー(14:30~15:30)

演 題:『50m 橋台におけるひび割れ抑制対策について』

講 師:下村 昭司 氏 ((株)ワタリコンサルタント 技術部長)

3. 公開講座(15:40~16:40)

演 題:『生態系の摂理と人間社会』

講 師:政岡 俊夫 氏 (麻布大学名誉学長)

4. 防災セミナー(16:50~17:50)

演 題:『津波災害リスクと交通まちづくり』

講 師:坂本 淳 氏 (高知大学 自然科学系理工学部 門 講師)

5. 第二次試験合格者祝賀会(18:00~20:00)

(1)開会挨拶・乾杯 副本部長 河野 一郎

(3)中 締 め 青年技術士交流副委員長 中根 久幸



写真1 第二次試験合格者(6名)の紹介

2. CPD セミナー下村 昭司氏

(株)ワタリコンサルタント 下村昭司氏より「50m 橋台におけるひび割れ抑制対策について」ご講演をいただきました。

本プロジェクトは、下村氏が前職(大旺新洋(株)高知土木本店在籍時 令和4年度)に携わられたものです。施工に先立って実施した解析では、標準施工で多くの貫通ひび割れが予測されたことから、抑制対策案として複数案の提案解析を実施されています。解析では「パイプクーリングと膨張コンクリート併用」で貫通ひび割れがなくなるとの結果を得ています。工程の遅延により、コンクリート打ち込みが夏期施工となったため、最終的には併用案のパイプクーリングを見直ししてひび割れ抑制を実施したとのことです。

本プロジェクトは、学会報告や新聞広報にも掲載されており、これまでの産官学連携による研究活動で培った様々な経験が活かされたと語っていました。コンクリート打ち込み直前の熱のこもった現場ミーティングの様子など、コンクリート構造物の品質確保にける下村氏をはじめとする施工現場の熱意が伝わってくる講演でした。



写真2 下村氏の講演

3. 公開講座 政岡 俊夫 氏

高知県出身で麻布大学名誉学長の政岡俊夫氏より「生態系の摂理と人間社会－地球共生系を見つめ 21 世紀の諸問題を考える」と題してご講演をいただきました。

まず、21 世紀の基本的課題は、「持続可能な発展を遂げる社会の構築」であり、背景として人口、食糧問題を取り上げられました。世界の人口動態について WHO は、2050 年に 91 億人超、人口増に対して FAO は、農業生産高 70%の増産が必要と宣言しています。肉類だけでも約 4.7 億トンが必要で、OIE は、将来の食糧が野生動物食に向かうことを警告しています。動物由来の新興・再興感染症（エボラ出血熱、SARS など）の発生は、地球上の生命基盤を支える生物多様性においても脅威となり、ヒト・家畜・野生動物の健康を追求する統合的アプローチ One World・One Health の理念についてお話しいただきました。人間と生物、環境が、互いにリンクする「地球共生系」を見つめ、人間社会は生態系に感謝の念を持つことが重要とのお話をいただきました。コロナ禍において生態系の側面から感染症の脅威や人間のふるまいについて考える貴重な機会となりました。



写真3 政岡氏の講演

4. 防災セミナー 坂本 淳氏

高知大学の坂本淳氏より「津波災害リスクと交通まちづくり」と題してご講演をいただきました。坂本氏は、建設コンサルタント勤務後、高専教員を経て高知大学に着任され、技術士（建設部門 道路）も取得されています。

津波災害リスクを踏まえたまちづくりについて、土木学会誌の編集委員を務められた経験から、1960 年の三陸海岸における津波対策に関する記事や、1983 年の人口動勢に関する記事を引用し、未来を予測した資料は膨大であるが、結局はわからない。わからないことをふまえた“よいまち”に向けた意思決定が必要か、といった問題意識についてお話いただきました。

調査研究として、「人々の津波災害リスク意識と居住選択・交通手段の関係分析」では、3.11 以降、津波災害リスクを意識する者の居住地選択の自由度を狭め、交通利便性の劣る郊外居住を促進させる可能性があること、「津波防災対策の実現が環境負荷の低減に及ぼす影響分析」では、津波防災対策の実施により中心市街地や鉄道の沿線へ居住する者は増加し、都市全体の CO2 排出量は減少する可能性があることなど、興味深い研究成果についてお話いただきました。



写真4 坂本氏の講演

5. 令和 4 年度技術士第二次試験合格者祝賀会

河野副本部長の開会あいさつと乾杯の音頭で祝賀会が開宴しました。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後、高知では初めての祝賀会であり、参加者も多く盛会となりました。青年技術士交流会中根副委員長の中締めにより祝賀会も無事終了することができました。皆様感謝申し上げます。